

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
 YOUNG
 ENTREPRENEURS
 GROUP
YEG

発行: 令和7年3月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

3



令和6年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
 会長 **高藤 軌晋**
 株式会社 オービット

今年の冬は久しぶりの大寒波により雪景色が続く日々でしたが、少しずつ春の足音が近づき、穏やかな陽射しが街を包み始めています。冬の名残を感じつつも、やわらかな風に春の気配が漂い、鳥取の街にも新しい季節の訪れが感じられる時期となりました。

2月12日(水)に令和6年度年間活動報告の2月例会を開催しました。今年度は新たな試みとして、年間で最も印象に残った事業に「鳥取YEG大賞」を贈る企画を実施し、各委員会が熱い想いを込めて発表を行いました。見事に大賞を受賞したのは「お堀の水ぜんぶ抜く大作戦」です。事業を担当した鳥取お堀委員会のみならずは年間を通じて鳥取城跡エリアで4つの事業を開催し、市民や学生との交流を深めながら地域経済の活性化と次世代の育成に貢献しました。こうした活動は、若い世代に地域への誇りや愛着を育むとともに、地域発展の長期的な基盤を築くものと信じています。

め大会に30名のメンバーで参加しました。本大会は全国各地から集まったYEGメンバーが交流し、学びを深める貴重な大会です。福岡・久留米の地元文化や食、歴史に触れることで地域資源を活かしたまちづくりのヒントを得る場となりました。参加したメンバーはそれぞれの経験を持ち帰り、今後の活動に活かしていきたいと思いをもちました。

3月8日(土)に卒業例会、3月9日(日)に最後の事業となります「YEGデパート」を行い今年度の事業を締めくくります。4月から始まりました任期も残り僅かとなりました。至らぬ点多々あったとは思いますが1年間多くのみなさまからのお支えをいただきながら活動を続けることができました。今年度のスローガン「Don't think, feel!!」のもと、考え過ぎるよりも決意を固め挑戦していくことの大切さを学ぶことができ、その行動と想いが成長への一歩に繋がることを実感しました。

私たちが鳥取商工会議所青年部は、今後も市民・行政・企業のみならず協力しながら、50周年に向けた新たな決意と挑戦を続けてまいります。今後とも私たちの活動に更なるご理解とご協力をお願いするとともに、より一層のご指導ご鞭撻を受け賜りますことをお願いしまして最後のご挨拶とさせていただきます。

1年間ありがとうございました。

2月例会「1年の活動発表会」

令和7年2月12日(水)に各委員会が1年間の事業を振り返る「活動発表会」を開催しました。各委員会には20名以上のメンバーが所属し、様々な企画が生まれ年間を通じて約30の事業が実施されました。

発表者が個性あふれるプレゼンテーションを行い、所属する各委員の魅力をアピール。会場では笑いや歓声が随所に上がり、楽しく盛り上がりのある報告会となりました。

今年度の活動報告会では、新たな試みとして「会員が選ぶ鳥取YEG大賞」を実施しました。これは、1年間で実施された事業の中から特に印象に残ったもの、評価の高かったものを委員の投票によって選ぶものです。

栄えある大賞には、32票の投票数を獲得した鳥取お堀委員会の「お堀の水ぜんぶ抜く大作戦」が選出され表彰されました。これまでは事業を実施した後の反響を知る機会に限られていましたが、今回の投票で委員の皆さんの意見を聞くことができました。会員からは、事業が地域貢献に繋がっている実感、YEGの活動意義と各委員会の努力を評価する声が多く見られました。

各委員会に情報を共有して次年度以降、よりよい活動に繋がってほしいと思います。

広報委員会 委員長 大森 誠



鳥取YEG大賞を受賞し、賞状を手にする河田委員長



プレゼンをする大深委員長

仕組み改善委員会

オープン委員会

令和7年1月22日(水)に仕組み改善委員会オープン委員会を商工会議所大会議室で開催いたしました。昨年の8月例会では「仕組み改善委員会は何のために存在するのか」と題しまして、当委員会がこの1年間で取り組んでいく内容、計画についてのご説明をさせていただきました。

そして今回は「仕組み改善委員会は今なにをしているのか」と題しまして、公式情報のマスターデータ、AT委員会手帳、写真共有、委員会報告の集め方、例会アンケートといったテーマの8月例会以降の取り組み結果についての状況報告を行いました。

また、去る2月3日に次年度の鳥取YEG組織図が発表され、仕組み改善委員会は次年度なくなる事が決定となりましたが、当委員会がこの1年間取り組んできたこと、当委員会が作り上げた新しい仕組みは次年度以降も続いていくこととなります。また、それらを継続させていくためには、委員の皆さまのご理解とご協力が必要不可欠です。

今年度何回も同じ話しをさせていただきましたので、もしかしら「もう飽きた」という方もいらっしゃるかもしれませんが、そこをグッと堪えて、より理解を深めていただき、一人一人が次年度以降の新しい仕組みの伝道師になっていただければ幸いです。

仕組み改善委員会 委員長 下園 裕樹



説明をする下園委員長



オープン委員会の様子

第44回全国大会『ほとめき FUKUOKAくるめ大会』

令和7年2月16日(土)、鳥取商工会議所青年部(以下鳥取YEG)は、第44回全国大会「ほとめきFUKUOKAくるめ大会」に、30名の会員が参加いたしました。登録者約1万人規模の大会に全国各地からYEG会員が集まり、その熱気を感じられたことは非常に良い経験となりました。

昨年度、鳥取YEGの高校生ビジネスプランコンテストがYEG大賞グランプリに選出され、今年度も2年連続の受賞を目指し、「鳥取城復元に向けた城跡エリア事業」をエントリーさせていただきました。地域貢献部門で最終選考まで残りましたが、あと一歩届きませんでした。

また、大会の終盤では全国の卒会生を対象に、卒業式が行われ、卒会生から現役会員へ送られた熱いメッセージを我々がしっかりと理解し、受け止め、今後の活動に活かしていかなければなりません。

最後になりましたが、鳥取YEGは50周年・中国プロテック大会が近年まで迫っております。このような素晴らしい大会を今後数多く経験、勉強させていただき、今度は我々が皆さまに感動を与えられるよう精進しなければなりません。強く感じました。

来年度は、群馬県伊勢崎の地で開催予定であり、またこの熱気を感じられることを今から楽しみにしております。参加された委員の皆様、大変お疲れ様でした。

総務委員会 専務理事補佐 荒川 恵介



全国大会の様子



参加したメンバー

Don't Think Action YEGマツスル交流会

令和7年2月21日(金)19:00よりパレット鳥取(市民交流ホール)において鳥取YEGスポーツ交流会を会員47名の方が参加していただき開催いたしました。今年度のスポーツ交流会は大阪より下尾彰浩先生をお招きし、ボクササイズの体験会を開催しました。雪が降る天候で開催も心配しましたが、皆さんが右左前後と動き回りハッスルし日頃できない経験を汗が吹き出し寒さを吹き飛ばすボクササイズ体験ができました。最高でした!

ボクササイズのあとはポッチャというニュースポーツで次年度の委員会メンバーでチームを組んでいただきました。対戦形式で勝敗を競いました。ポッチャの経験が初めての方が多かったのですが、白熱のゲームで大変盛り上がりとても楽しい時間をすごし、あとの懇親会にも多くの皆さん、下尾先生にもご参加いただき最後まで楽しい交流会でした。

今年度の組織図が承認され、この交流の場が次年度にバトンを繋ぎ4月から会員同士の交流が密になり、この交流をきっかけに事業の運営も活発に活動していただければ、新たなYEGの魅力をもっと多くの方に伝え成長できたら素晴らしいと思います。

最後となりましたがDon't Think Action YEGマツスル交流会に参加、ご協力いただきました皆さまに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

会員交流委員会 副委員長 湯川 涉



ボクササイズの様子



ポッチャの様子